

3、中間育成・放流事業

(1) 放流事業

平成23年4月に策定された島根県第6次栽培漁業基本計画に基づき、県下6地域の水産振興部会と連携しながら、ヒラメ・マダイ稚魚の中間育成および放流を実施し、積極的に資源の回復、漁業生産の増大を図った。

(事業費には、県強い水産業づくり交付金、地元負担金、栽培漁業推進ファンドの運用益を充当)

ヒラメ放流実績 (育成 30・60^{ミリ} 放流 73~320^{ミリ})

部会名	中間育成			放流				歩留 (%)
	配布 開始日	育成尾数 (尾)	サイズ (mm)	放流 終了日	放流尾数 (尾)	サイズ (mm)	放流地域	
出雲東部	5/10	100,000	30 60	10/2	59,200	75~320	七類 沖泊 大芦 御津 片句 恵曇 魚瀬	59
出雲西部	4/10	80,000	30	8/5	43,000	95~166	十六島 大社 湖陵 多伎	53
石見東部	4/10	230,000	30	6/14	154,000	82~121	和江 久手 宅野 仁摩 温泉津	66
石見西部	4/8	247,500	30	6/25	207,000	73~125	江津 浜田 三隅 益田	83
合計		657,500			463,200			70

マダイ放流実績 (育成 25・40^{ミリ} 放流 80~137^{ミリ})

部会名	中間育成			放流				歩留 (%)
	配布 開始日	育成尾数 (尾)	サイズ (mm)	放流 終了日	放流尾数 (尾)	サイズ (mm)	放流地域	
隠岐島前	7/17	500,000	25	9/13	440,000	80~90	西ノ島 海士 知夫	88
隠岐島後	7/18	200,000	25	8/31	177,000	80	隠岐の島 西ノ島	88
出雲東部	7/24	100,000	40	10/2	67,500	91~137	美保関 大芦 御津 鹿島 魚瀬	67
合計		800,000			684,500			85

年度別歩留り 中間育成開始~放流まで

魚種	部会	H25 (%)	H24 (%)	H23 (%)
ヒラメ	出雲東部	59	12	55
	出雲西部	53	25	67
	石見東部	66	20	56
	石見西部	83	46	63
	合計	70	28	60
マダイ	隠岐島前	88	84	73
	隠岐島後	88	88	90
	出雲東部	67	90	72
	合計	85	87	81

(2) ヒラメ疾病に対する対策

平成24年度に発生した中間育成中のヒラメ大量斃死は、シュードモナス症の発症が主な原因と考えられたため、病気を発症、蔓延させないための対策を行った。

- ・種苗輸送前にはトラックの水槽の洗浄、殺菌を行った。
- ・育成場、水槽、飼育資材の洗浄、殺菌を徹底した。
- ・シュードモナスの活性が低い、低水温期に低密度輸送を行った。
- ・輸送時はトラックの水槽内で薬浴を行った。
- ・ヒラメにストレスを与えないようにするため、選別作業は行わなかった。
- ・4月9日にヒラメ中間育成技術者を対象とした研修会を行った。
- ・病弱魚の除去を徹底した。
- ・こうした結果、平成25年度の歩留まりは70%と平成24年度の28%に比べ、大幅に上昇した。

(3) 事業計画検討会・研修会

① ヒラメ中間育成研修会 4月9日 浜田市 古和養魚場

ヒラメ中間育成技術者を対象に、昨年一番歩留りの良かった、古和養魚場で研修会を行った。病弱魚の判断の仕方、給餌方法、飼育環境の改善法等を学んだ。



② ヒラメ重度黒化及び奇形魚除去実施研修会 4月25～26日 栽培漁業センター

種苗出荷までに栽培漁業センターでのヒラメ黒化除去の可否及び黒化除去が中間育成に与える影響を検証するため、研修と実験を行った。

